

2004年4月18日。
先号で紹介した新潟大学大会と同じ日に千葉でもお勧めのイベントが開催される。
桜吹雪の新潟か？白砂青松の千葉か？悩むところだ。



(C)2004 Mikiny

秘蔵のニューテレイン！

京葉OLクラブは九十九里浜の微細な砂丘地形を精緻に地図化する。場所は千葉県蓮沼村。

京葉OLクラブは今までに50枚もの地図を作成してきたが、今回のテレインはどの地図のリメイクでもなく、「秘蔵」のニューテレイン。

最近、関東ではほとんどの大会がリメイクのテレインなので、今回の京葉大会は関東で完全なニューテレインを堪能できる千載一遇の大チャンス！

テレイン開発秘話

では、今回の「秘蔵のニューテレイン」が、どうして今まで0-map化されることがなかったのか？

実は、このテレインの存在は、クラブ内ではかなり以前から認識されており過去、大会候補地に挙がったこともあったそうだ。

しかしながらさまざまな理由により地図化が見送られてきた。その理由とは何か？それはテレインを図化することの難しさからだった。完全な図化にこだわりを持つ京葉OLクラブならではと言えよう。

テレインとなる蓮沼村の砂丘地帯は

標高差のあまりない微地形。それゆえ原図の等高線はほとんど参考にならない。

ここを図化するためには等高線を1から書き起こす必要がある。このような難しい地図調査において、多人数を投入した調査では調査の標準化に手間がかかる。そうなると、少数者による調査が必須となる。しかしそれは1人あたり多大な時間を要するということを意味する。首都圏に通勤しながらオリエンテーリングを続けている者が大半を占める京葉OLクラブでは、なかなかそうした時間が捻出できない。

さらに追い討ちをかけるようにテレインの一部に見通しの悪い部分があるため、調査が難しく、面積あたりの調査時間は、他のテレインより多く必要となってしまう。

田中徹の地図

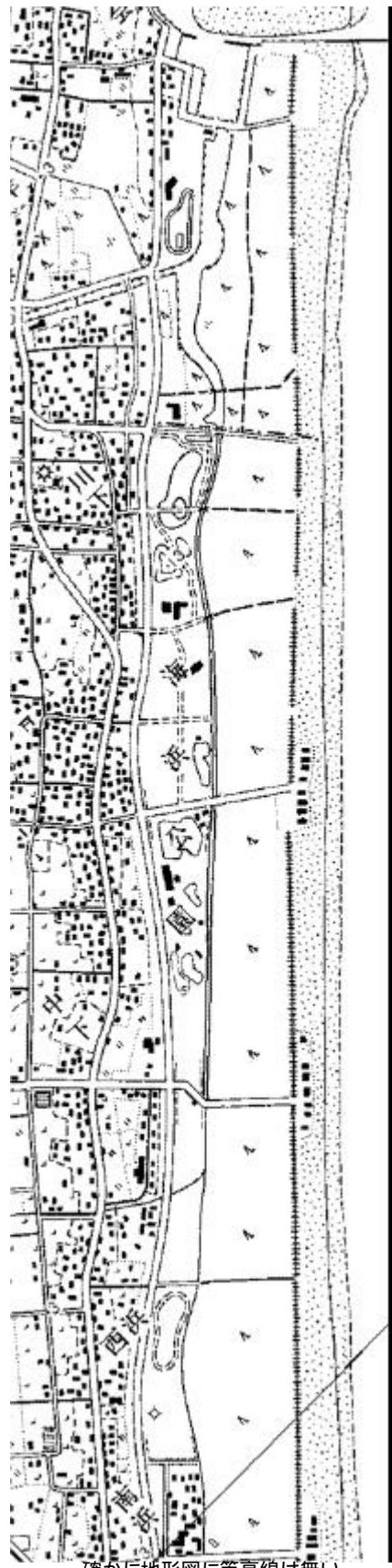
しかし、この難解なテレインを地図化したのはあの田中徹であった。田中が一念発起、膨大な時間を投入して地図を完成させた。今まで夢見た蓮沼村でのオリエンテーリング大会。田中の情熱と努力がそれを実現へと導いた。

1980-1990年代にかけて「田中徹」の地図と言えばブランドモノだった。それほど彼の作る地図は多くのオリエンティアに刺激を与えた。21世紀になり、田中徹氏の作成する地図を見る機会は少なくなったと思っていたが、実はニューテレインの図化を進めていたようだ。

質の高いイベントを目指して

今回の京葉大会は今年の世界選手権およびワールドカップに出場する日本代表選手の選考レースに指定されている。予備選考通過済の選手にとって重要な本選考レースであるとともに、未通過の選手にとって最後の予備選考レースも兼ねている。つまり、この文章を読んでいるあなたも（過去の実績がなくても）今回の京葉大会で良い結果を出せば、日本代表への道が開けてくるのだ。

また、日本ランキングの対象大会にも指定されている。対象大会に指定されるためには、競技面・運営面で様々な基準をクリアする必要がある。



確かに地形図に等高線は無い

したがって、エリート選手のみならず全ての参加者が「質の高い大会」を楽しめそうである。

学生は特別価格

京葉OLクラブは「日本のオリエンテーリング界を支えているのは学生の皆さんだ」ということで、学生優遇を前面に押し出して参加料の割引を設定している。京葉OLクラブは最近高騰する大会参加費に一石を投じている。

京葉大会は競技面・運営面のみならず価格面でも「満足度No.1」を目指している。

新歓・家族連れにも最適！

今回の京葉大会ではポイント0のみならずパーク0やキッズ0も併催する。

パーク0は複数名での同時スタートが可能で参加費は300円。キッズ0は参加費無料。ポイント0を走った後に参加することもでき、遊園地もマップ内にある。新歓行事などにちょうどいいだろう。もちろん家族サービスもできるだろう。

また、ポイント0の競技形式もミドル・ディスタンス。アップのなさと併せて、体力に自信がなくとも楽しめるイベントになりそうだ。

さらに、大会前日(4月17日)には前回大会で使用した「一宮砂丘2002」を修正調査のうえトレーニングコースとして提供される。



うねる地形と走行可能な松林

新しい仲間を募集！

京葉大会に参加したくなってきたあなた、次回は運営者として京葉大会を楽しんでみませんか？

京葉OLクラブは会員数が約60名で、子どもから60代までの老若男女、トップエリートや運営の達人からマイペース派まで、様々なメンバーがいます。他の地域クラブに比べて20代の会員が多いので、大学卒業後もオリエンテーリングと一緒に楽しむ仲間がほしい皆さんにはピッタリだと思います(今回の京葉大会では、大会実行委員長28歳、競技責任者兼コース設定者24歳、運営責任者30歳です)。

会員の居住地は千葉県と東京都が中心ですが、埼玉県や神奈川県の他、関東地方以外にも広がっており、学生の方や家族で活動したい方も十分に楽しめます。

競技面の実績は、クラブカップリレーの入賞9回(日本一)優勝2回、クラブ対抗リレーの3連覇(2000~2002年)と、全国でもトップレベルを誇ります。運営面では、21回の主催大会や50枚の地図作成、共催による大会運営を行ってきました。公認大会からパーク0まで、様々な大会と地図で「運営の楽しみ」を味わうことができます。

京葉OLクラブでは、年齢・性別・経験を問わず、新入会員を随時募集中ですので、お気軽に声をお掛けください。

あなたも京葉OLクラブでいっしょにオリエンテーリングを楽しんでみませんか？

<http://www.keiyo-ol-club.com/>
(京葉OLクラブ)



太平洋と黒松と公園と典型的な海岸テレインである。